

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2009-44766(P2009-44766A)

【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2008-276037(P2008-276037)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

H 04 H 60/37 (2008.01)

H 04 H 60/43 (2008.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 H 60/37

H 04 H 60/43

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デコードされたプログラムのデータを提供する、MPEGプログラム・マップ・テーブルと当該MPEGプログラム・マップ・テーブルに付加されたチャネル情報テーブルとを含むMPEG互換のパケット化されたプログラム情報のデータ・ストリームを受信してデコードする装置であって、

前記チャネル情報テーブルは、放送チャネル上で送信されるプログラムに関連づけられたプログラム番号、PCR PID、ストリーム・タイプ、およびエレメンタリPID情報を含む、前記MPEGプログラム・マップ・テーブルでも伝達される情報を含み、

変調された信号で搬送された前記MPEG互換のパケット化されたプログラム情報を受信し、MPEG互換のトランスポート・ストリームを出力する受信機入力プロセッサ、復調器、および入力デコーダ・ユニットと、

ビットストリーム・シンタックスによって定義された前記チャネル情報テーブルを収容する一つまたは複数のパケットを前記データ・ストリーム内で識別し、チャネル・マップ情報を含む前記チャネル情報テーブルをメモリ内にアセンブルする、データ・トランスポート・ストリーム・デコーダ、デマルチプレクサ・ユニット、およびプロセッサ・ユニットと、

を備える装置。

【請求項2】

前記データ・トランスポート・ストリーム・デコーダ、デマルチプレクサ・ユニット、およびプロセッサ・ユニットは、MPEG互換のパケット化されたプログラム情報の前記データ・ストリームをデコードするため、または前記プログラムをユーザに表示するためには、前記アセンブルされたチャネル情報テーブル内に収容される情報を選択するように動作可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記選択される情報は、プログラム番号、PCR PID、ストリーム・タイプ、エレ

メンタリ P I D、または対応する言語タイプ・インジケータのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 2 に記載の装置。

**【請求項 4】**

デコードされたプログラムのデータを提供する、M P E G プログラム・マップ・テーブルと当該 M P E G プログラム・マップ・テーブルに付加されたチャネル情報テーブルとを含む M P E G 互換のパケット化されたプログラム情報のデータ・ストリームを受信してデコードする方法であって、

前記チャネル情報テーブルは、放送チャネル上で送信されるプログラムに関連づけられたプログラム番号、P C R P I D、ストリーム・タイプ、およびエンタリ P I D 情報を含む、前記 M P E G プログラム・マップ・テーブルでも伝達される情報を含み、

変調された信号で搬送された前記 M P E G 互換のパケット化されたプログラム情報を受信し、M P E G 互換のトランスポート・ストリームを出力するステップと、

ビットストリーム・シンタックスによって定義された前記チャネル情報テーブルを収容する一つまたは複数のパケットを前記データ・ストリーム内で識別し、チャネル・マップ情報を含む前記チャネル情報テーブルをメモリ内にアセンブルするステップと、

を含む方法。

**【請求項 5】**

M P E G 互換のパケット化されたプログラム情報の前記データ・ストリームをデコードするため、または前記プログラムをユーザに表示するために、前記アセンブルされたチャネル情報テーブル内に収容される情報を選択するステップをさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記選択される情報は、プログラム番号、P C R P I D、ストリーム・タイプ、エンタリ P I D、または対応する言語タイプ・インジケータのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 5 に記載の方法。